

東京都（総合）精神保健福祉センターが実施する アウトリーチ支援事業の利用者の方へ

都内に3か所ある東京都立中部総合精神保健福祉センター、東京都立精神保健福祉センター及び東京都立多摩総合精神保健福祉センターが共同で、下記の調査研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、相談記録等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、担当者にご連絡ください。

研究課題名	評価尺度を用いた東京都アウトリーチ支援事業の利用者の転機に関する研究
本研究の目的	アウトリーチ支援事業（以下、本事業）の利用者への効果について、評価尺度を用いて定量的に検証し、今後の支援に活かす
研究期間	2018年4月から2028年3月末まで
調査データ該当期間	2018年4月から2028年3月末の情報
調査方法	<p>1) 対象者 2018年度以降、保健所等の保健師からアウトリーチ依頼があり、関係者会議を経て本事業の支援対象者となった全事例</p> <p>2) 利用する情報 本事業の開始時～終了時において、以下4つの評価尺度で利用者への効果をスコア化したもの：サービスエンゲージメント尺度（Service Engagement Scale：SES）、社会行動評価尺度(Social Behaviour Schedule：SBS)、機能の全体的評定尺度（Global Assessment of Functioning：GAF）、簡易精神症状評価尺度（Brief Psychiatric Rating Scale：BPRS）</p> <p>3) 情報の分析 2)における情報に関し、個人が特定されないよう匿名化したうえで、統計学的に分析を行います。</p>
情報の他の研究機関への提供および提供方法	他の機関への情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者の方を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定しておりますが、その際も対象者の方を特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究責任者（所属）	地域支援科医師 白井 有美
他の研究機関および各施設の研究責任者	
問い合わせ先	電話：03-3302-7702 担当者：広報援助課計画調査担当
備考	